

至 誠



小美玉市立小川南中学校 学校だより
NO. 5 令和元年 5月8日 発行

教育目標 これからの時代を切り拓く たくましい生徒の育成
キーワード 至 誠 ～ 精一杯 心をこめて ていねいに ～

新しい時代の始まりです フットボールアカデミー壮行会

新しい元号「令和」について

平成31年4月1日
内閣総理大臣談話

新しい元号は「令和(れいわ)」であります。

これは、万葉集にある
初春(しよしゅん)の令月(れいげつ)にして 気淑(きよ)く風(かぜ)和(やわ)らぎ 梅(うめ)は鏡前(きやうぜん)の粉(こな)を披(ひら)き 蘭(らん)は珮後(はいご)の香(かう)を薫(かおり)す
との文言から引用したものであります。そして、この「令和」には、人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つ、という意味が込められております。

万葉集は、千二百年余り前に編纂(へんさん)された日本最古の歌集であるとともに、天皇や皇族、貴族だけでなく、防人や農民まで、幅広い階層の人々が詠んだ歌が収められ、我が国の豊かな国民文化と長い伝統を象徴する国書であります。

悠久の歴史と薫り高き文化、四季折々の美しい自然。こうした日本の国柄を、しっかりと次の時代へと引き継いでいく。厳しい寒さの後に訪れを告げ、見事に咲き誇る梅の花のように、一人ひとりの日本人が、明日への希望とともに、それぞれの花を大きく咲かせることができる。そうした日本人でありたい、との願いを込め、「令和」に決定いたしました。



5月1日から元号が「平成」から「令和」に変わりました。「昭和」から「平成」に変わった時には、昭和天皇がお亡くなりになっての改元だったので、お祝いするという感じではありませんでしたが、今回は平成天皇が退位しての改元だったので、全国的にお祝いムードが広がりました。

平成16年から平成19年に生まれた子ども達が中学生です。そして、新しい「令和」の次代を担っていくのも中学生の皆さんです。将来の夢や将来つきたい職業、やってみたいことなど、漠然としているものを中学の3年間に少しずつはっきりしたものにしていきましょう。



4月26日(金)、小美玉フットボールアカデミーの壮行会を行いました。フットボールアカデミーは一般の部活動より2ヶ月も早く関東大会、全国大会に続く県大会予選が始まります。



昨年度は見事県大会を制して関東大会まで進みました。『今年さらにはその上を目指して頑張ります。』という力強い決意の言葉が聞かれました。



前期 学級委員を任命しました

◇第1学年

1組	真家 拓也	赤羽 華佳
2組	杉田 大歩	小沼 鈴音
3組	鈴木 豪樹	郡司 桃花

◇第2学年

1組	伊能 慎之介	高須 南
2組	梶野 竜	長島 彩香
3組	伊野 友盛	内田 陽真里

◇第3学年

1組	杉田 大空	樋口 悠月
2組	山口 魁斗	中山 莉桜子
3組	関口 翔太	櫻井 結佳

前期学級委員に任命された皆さん、学年の行事や生徒会の行事では、しっかりリーダーシップを発揮し、クラスをまとめて下さい。